

第1回未来デザイン部会(3/9) 主な意見

R3.4.13

キーワード(案)	内容
自然と触れ合える環境づくり	サツマイモやスイートコーンの収穫、植え付けを体験して残りは地域の人々に任せるのではなく、本当の自然の環境の中で動植物と触れ合えるような環境体験学習を行う。
人生100年時代	<ul style="list-style-type: none"> ・定年はなくなっても働く意欲があれば何歳でも働ける環境になっていく。 ・社会との繋がりを保つために、サークルや仕事を続ける人もいる。
新しい観光	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む地域では観光客や周遊目的で環境に優しいグリーンスローモビリティが既存の交通機関に代わって出来ている。 ・空飛ぶ車を利用して、夜間の沿岸を見るなどの観光ツアーが出来るのではないか。
変化する道路・交通事情	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が増えていくにつれ、外出が増えるため運転免許証の返納を嫌がる高齢者も増えていくが、免許証を返納してもデマンド型タクシーが地域のモビリティとして活かされるようになる。 ・車が空を飛ぶので、新たな道路を建設する必要がなくなる。 ・空飛ぶ車は、観光や僻地への物資の輸送と災害時の人命救助など多様に活用される。
ものづくりと教育	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のシェアナンバーワン企業が東播磨にあるので、子どもの時からものづくりへの関心を高くして、デジタル技術を駆使しバーチャル画面で様々な体験をしたり3Dプリント技術など様々な分野での人材育成が進み高校生や大学生の起業家が育つような環境になる。 ・子どもたちのものづくりへの教育が臨海部の産業とどのぐらい繋がっていくのか。
ロボットの活用	屋外での土木作業や農作業には遠隔操作ロボットが導入されるようになっていく。
水産技術の向上	先端技術を駆使して養殖が進むのではないかと。冷凍技術でマグロの卵をサバに産ませるように、絶滅危惧種を救うバイオテクノロジーにより養殖が一般的になっていくのではないかと。
核となる地域がない東播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・東播磨には街としての中心、産業の中心がない。 ・中の繋がりが弱いのを繋ぎ合わせる、ネットワークするような仕組みがどこかに必要となる。 ・あいまいな地域ではあるが人、産業、自然、環境など地域の中

	<p>である程度回るものを造っていかないといけない。</p>
スマート農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業と太陽光発電を同時に行うソーラーシェアリングなどのスマート農業が進んで、ドローンによる管理も行われる。 ・ 野菜を作る大きな工場が出来るような時代にこれからはなるのではないか。シーズンを問わず、あるいは天候関係なしに野菜を作っていくような拠点が東播磨に出来ても良い。 <p>生産を全てコンピュータで管理するスマート農業。</p>
スポーツと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で誰でも取り組めるようなスポーツを作って、「健康づくりに東播磨は力を入れている」と強調できるようなものがあればいい。 ・ 起伏が少ないため、自転車でどこでも行けるということは東播磨の特長に関わることなので、「暮らしているだけで健康になる」など、その特長を活かした方が良い。 ・ 東播磨高校が甲子園に出場するなど、スポーツは東播磨の特長でもあると思う。
移住のしやすさ	<p>東播磨地域は行こうと思えば大阪に通勤も出来る一方、ちゃんとした田舎暮らしも出来る地域。産業もある。現実的な選択肢として移住がしやすくもっと注目されても良い地域。</p>
祭り文化	<p>祭りは若者の関心も高く、このまま盛んであってほしいという思いはみんな持っている。それは活かしつつも、内輪で結束するだけではなく、もう少し都会的になる必要があるのではないか。</p>
少ない観光客	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客が少ない。ひょっとしたら観光が県内で一番弱い地域かもしれない。ただ、キラッと光るような建造物や歴史はあるので、そこを訴えてPRすることが必要ではないか。 ・ 地域の人たちが知って、誇りを持つことで人がやってくるところがあるというプロセスが重要。
水辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ ため池もそうだが、加古川の保全など生き物や植物も含めた自然をどうするか。 ・ ため池や川、海などの水辺をこれからも大事にしていく必要がある。
地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギーや農業も地産地消出来るようにしておかないといけない。 ・ 太陽光発電の拡大、電気自動車・燃料電池自動車の普及、水素エネルギーの積極的な活用は東播磨にとって新たなビジネスチャンスになり得る。

多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30年前に比べても外国の方は増えたとし、やってくる国もバリエーションが増えた。高齢化の影響もあり、今後ますます外国人は増えてくると思うので、「多文化共生」はキーワードになると思う。 ・ 外国人学校が少なく、言葉の壁に悩むケースなどがある。
人との繋がり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人と繋がらなくても暮らしていけるように、社会が進歩していった一方で、人と人が繋がることも依然大事。人と人を繋ぐという観点で地域のあり方を考えていかないといけない。 ・ 若者アンケートでは「地域との繋がりを大切にしたい」という意見が多く見られたので、その辺りをどう活かしていくか。